NIE実践報告

１．タイトル：新聞クイズを作ろう

２．学校名

三方小学校

３．実践者名（代表者名）

西村一郎

４．学年

第３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間

６．単元（本時の学習課題）名

新聞迷路を作って，みんなを招待しよう

７．目標(狙い)

教室内に新聞クイズコーナーを備えた新聞迷路を作り，他学年に開放し，招待客に楽しんでもらうことで，新聞を身近に感じ，NIEに関心をもって取り組もうとする児童を育てる

８．評価の視点

・児童自信が楽しみながら意欲を持って新聞迷路を作ることができたか。
・低学年から高学年までの児童が，解答することを楽しめる新聞問題を作ることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「NIEの楽しさを発見しよう」（年間全４８時間）・新聞迷路を楽しもう（全１４時間　本時第１０時）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　教室内に張られた紐に新聞紙（３連）を引っかけて垂らし，迷路になるように，組み合わせる。
　（留意点：重量を抑えるために，使うテープの長さを短くし，“点”で貼り付ける。）
2　新聞問題は，誰もが知らない記事から出題し，かつ，問題文を平易な文章にすることで，１年生でも解答できる内容にする
　（留意点：報道写真をカラーで拡大印刷し，問題文と共に掲示し，“見て楽しめる問題”を作るよう支援する。）
3　入場は，１回に数名程度とし，１分ごとに入室するよう，受付での説明を工夫する。また，全１１問の新聞クイズの正解数に応じて，景品を渡し，参加意欲をかき立てる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞を使って，めい路を作るのは，初めてで，むずかしかった所もいっぱいあったけど，完成したら，とても楽しいめい路になったので，すごくうれしかったです。
・６年生の子が「新聞クイズがおもしろかった」と言ってくれたので，よかったです。

12．成果と課題

・ＮＩＥの実践を地域，保護者に紹介するということもねらいの１つだったのだが，新聞に親しんでいることが伝わる反響が得られ，達成感を感じて終わった学習となった。子ども達は，新聞から問題を作る楽しさ，そして解いてゆく楽しさ両方を味わったと思う。校内だけでなく，家庭・地域に発信していくＮＩＥとなることが，子ども達と新聞をつなぐためには，必要なのだと改めて認識している。